

海からみた 北極域

寒冷地社会の変化と ウェルビーイング

グローバル化を生きる先住民社会

北極海に面する北米、北欧、シベリア(ロシア)など、北極域に暮らしてきた先住民の社会は、気候変動と経済のグローバル化の影響を強く受け、急激な変化に晒され続けている。

伝統的生業や生活文化の変容を見つめ、先住民のアイデンティティと尊厳のゆくえ、環境問題、食の主権、精神保健、記憶の継承など、北極域の地域社会が直面している課題を明らかにする。

●目次

序 論 海からみた北極世界 *高倉浩樹

I 先住民社会の変化とウェルビーイング

第1章 カナダ・イヌイット社会における狩猟・漁撈活動とウェルビーイング *岸上伸啓

第2章 外来種の導入と先住民社会

——アラスカ、ヌニヴァク島におけるジャコウウシとチュピッグの90年 *野口泰弥

第3章 カナダ北西海岸における先住民の生業活動、サケ漁業、養殖業の展開 *立川陽仁

II 尊厳の侵害と危機への対応

第4章 北極の村のごみ問題とアラスカ先住民の民族自決 *石井花織

第5章 2000年代サハリン大陸棚の石油・ガス開発と先住民の対応 *是澤櫻子

第6章 歴史的トラウマと文化の作用からみたアラスカ先住民の精神保健 *中野久美子

第7章 カムチャッカ先住民が語るソ連集団化政策の記憶

——近代化という名の破壊 *永山ゆかり

III 北極域のグローバル化のなかで

第8章 極北地域先住民の食料安全保障

——西シベリア北部の先住民を中心とする食をめぐる状況と課題 *吉田 睦

第9章 サーモンから見る北極域と中国社会

——中国における消費拡大とサーモンのポリティクス *川口幸大

第10章 フェロー諸島における地域捕鯨

——食の主権と相互扶助の視点から *赤嶺 淳/デイビッド・アンダーソン

コラム 気候変動と北極圏への影響 *日引 聡



四六判 288頁 定価2,800円+税

姉妹本

極寒のシベリアに生きる

——トナカイと氷と先住民

高倉浩樹 編

寒冷地の社会と暮らし

地球温暖化の影響を最も受けやすいといわれる北極圏。その極北の地に人類はいつから進出し、厳しい自然環境の中を生き抜いてきたのだろうか。寒冷環境に適応してきた人びとの歴史と文化、暮らしと社会の仕組みを見つめる。

歴史、民族、言語、宗教、生態学、気候学、交通まで、文系・理系の研究成果をわかりやすく概説したシベリア入門。



四六判上製
272頁 定価2,500円+税
ISBN 978-4-7877-1112-0

◎ご注文のお客様は、以下に必要事項をお書き添えのうえ、書店にお申し込みください。

ご注文書	書店名	新泉社 東京都文京区湯島1-2-5 TEL 03(5296)9620 FAX 03(5296)9621		
		高倉浩樹 [編]	定価2,800円+税	冊
		海からみた北極域 ——グローバル化を生きる先住民社会	ISBN978-4-7877-2506-6	
	お名前	ご住所・お電話番号		